

セミの抜け殻しらべ

【団体出展】

セミの抜け殻しらべ市民ネット(東京都)

●どんなことをしらべるの？

セミの抜け殻は、セミの幼虫が羽化する(羽が生えて成虫になる)ときの脱皮した後のカラです。抜け殻をしらべることで、それがどんなセミなのか、また、オスかメスかもわかります。ある場所で夏の間にとれた抜け殻をしらべると、その場所でどんなセミが何匹羽化したのかがわかります。いろいろな場所でしらべると、どんな場所にどんなセミが多いか、違いがわかってくるかもしれません。

●しらべ方とコツ

東京の公園で見られるセミはアブラゼミ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、ツクツクボウシ、ヒグラシ、クマゼミの6種類です(図1)。抜け殻は大きさや形、泥がついているかどうかなどで、見分けることができます。アブラゼミとミンミンゼミの抜け殻はよく似ていて、触角の特徴を見分ける必要があります。アブラゼミは頭から3番目の節が太く、ミンミンゼミは1節、2節、3節と順次細くなっています(図2)。オスとメスはどの種類でも、産卵管の跡の有無で見分けることができます(ニイニイゼミは洗わないと泥で見えませんが) (図3)。

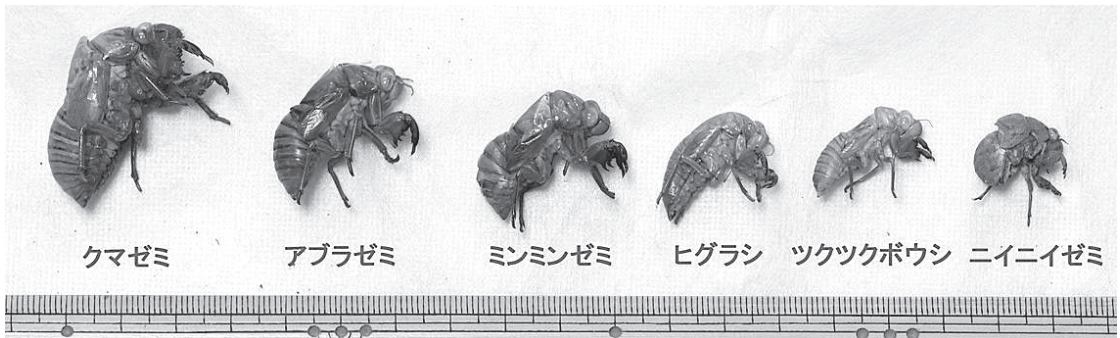


図1

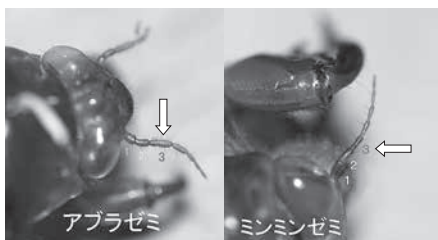


図2



図3

●気をつけよう

野外では危険な場所や、ハチやドクガなど危険な生き物もいます。必ず大人の人といっしょにしらべましょう。

●もっとくわしく知るために

インターネットで「セミの抜け殻しらべ市民ネット」を検索してみてください。

抜け殻しらべの方法や、今までの調査結果が見られます。

URL <http://semigara.net/>